

I 飛島村の教育指針

～ 郷土に誇りをもち、確かな未来を拓く教育 ～

本村は、第4次飛島村総合計画（平成25年3月策定）の将来像である「小さくてもキラリと光る村 とびしま」の実現を図るために、「子どもがすこやかに育つむらづくり」「住民が交流を深めるむらづくり」「安心して生活できるむらづくり」を重点施策としている。また、「村民憲章」を行動指針として、自分たちが住む村を大切に、住みやすい村となるよう共に考え、話し合い、実行していく人づくりが肝要であるとする。

そこで、本村の教育指針を「郷土に誇りをもち、確かな未来を拓く教育」とし、将来の飛島村の担い手となる人づくりを進めていく。

飛島村民憲章（昭和58年3月制定）

村民憲章は、村民の皆さんが相互に信頼関係を培っていくための「共通の心構え、合言葉」です。

本村では、村民憲章を推進することによって、村民相互がかたく信頼関係で結ばれる村づくりを目指します。

- 心とことばの通いあう、楽しい家庭をつくりましょう。
- 祖先をしのび、感謝の気持ちで働きましょう。
- 進んできまりを守り、明るい社会づくりに励みましょう。
- ものを大切に、思いやりの心で毎日をすごしましょう。
- 心身をきたえ、豊かで活気のある村をつくりましょう。

II 施策の基本指針

第4次飛島村総合計画及び、教育大綱（平成30年3月策定）に基づき、次の教育施策を推進する。

1 学校教育・青少年健全育成

地域の力を活かしながら、「未来を切り拓く力の育成」「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「かかわる力の育成」「健やかな体づくり」を進める。

(1) 小中一貫教育の充実

教育課程の工夫、指導方法の共有、教職員間の連携を行うことで、義務教育学校として、子どもたちの9年間の連続した健やかな学びを確保する。

(2) 地域と連携した学校教育の推進

子どもたちが積極的に地域の行事、イベント等へ参加し、地域の様々な大人とかかわる機会を増やすことで、未来を切り拓く力を育成する。

(3) 子どもたちの心身の健康づくり

校外活動及び情操教育、特別支援教育等を充実させるとともに、いじめ防止・不登校対策を的確に実施することで、子どもたちの心身の健全な育成を目指す。

(4) 就学支援の充実

就学支援を拡充し、全ての子どもたちが平等に教育機会を享受できる村づくりを目指す。

(5) 学習環境の充実

飛島学園の施設維持管理及びICTの整備を適正に実施することで、安全かつ充実した学習活動を実現する。

(6) 青少年健全育成の推進

青少年教育に関する啓発や平和意識の高揚を図り、心豊かな青少年を育成する。

2 生涯学習・スポーツ・文化

住民の文化活動やスポーツ活動を支える社会教育団体の自立した運営・経営を促すとともに、生きがいや豊かな心を育む活動の充実を図る。また、図書館において、貸出サービスの充実はもとより、住民の課題解決等、時代に求められる機能の向上を図る。

(1) 生涯学習の推進

様々な人材育成・生涯学習活動を通じて、住民の生きがいと豊かな心を育む。

(2) 生涯スポーツの推進

スポーツ活動ができる多様な機会をつくることで、多くの人が生涯を通じてスポーツに親しみ、地域住民が互いに交流できる環境づくりを目指す。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

文化財・郷土資料を適切に維持管理するとともに、伝統芸能の担い手育成と保存会の存続を目指し、飛島村の昔ながらの生活を伝承していくことで住民の郷土愛を醸成する。

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

中央公民館・総合体育館・運動広場等の施設の安全性を確保し、適切な管理運営を行うことで、施設の利用環境の向上を目指す。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

社会教育・社会体育の振興を図るために活動団体に助成することで、運営面や資金面で自立した運営を目指す。

(6) 図書貸出機能の強化

住民のニーズに合わせた蔵書の充実や貸出方法の改善により、住民の読書を推進する。

(7) 図書館利用者サービスの充実

レファレンスサービスの充実や情報発信、子どもたちが本に親しむ機会づくり等により、住民の課題解決能力や豊かな心を育む地域に貢献し親しまれる図書館を目指す。

3 国際理解

(1) 国際交流の推進

多文化への理解を深めることにより、国際的視野をもち、グローバルな視点から郷土を考えられる人づくりを進める。

Ⅲ 教育に関する事務の点検評価について

効果的な教育行政の推進に資するため、外部の学識経験者の知見を活用して「教育委員会の点検及び評価」を実施し、報告書にまとめた。

Ⅳ 教育委員会の取組について

1 教育委員会会議の開催状況

定例会議を12回開催した。学期末には、定例会議の開催に合わせて教育懇談会(7/29、12/14、3/30)を行い、飛島学園校長、教頭から学校の様子、取組内容や成果・課題等について報告を受けた。

回	日付	会議名	回	日付	会議名
1	4/24(金)	教育委員会(4月定例)	7	10/21(水)	教育委員会(10月定例)
2	5/26(火)	教育委員会(5月定例)	8	11/24(火)	教育委員会(11月定例)
3	6/24(水)	教育委員会(6月定例)	9	12/14(月)	教育委員会(12月定例)
4	7/29(水)	教育委員会(7月定例)	10	1/20(水)	教育委員会(1月定例)
5	8/25(火)	教育委員会(8月定例)	11	2/26(金)	教育委員会(2月定例)
6	9/25(金)	教育委員会(9月定例)	12	3/30(火)	教育委員会(3月定例)

2 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「準要保護児童生徒の認定について」、「教科用図書の採択について」など10件の議案が審議された。さらに、新規を含む23件の後援依頼が発議され、「飛島村教育委員会における後援等の基準及び手続きに関する要綱」の審査基準に従い十分検討した結果、1件を除き後援が承認された。

会議	審議状況
4月定例	<p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 3件</p> <p>【報告】・5月の学校行事予定について ・自主登校教室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度図書館特別整理機関(蔵書点検)の日程変更について ・令和2年度温水プール施設点検期間(水入替え)の日程変更について
5月定例	<p>【議案】なし 【協議】なし</p> <p>【報告】・6月の学校行事予定について ・後援承認について 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員名簿 ・学校評議委員名簿 ・図書館協議会名簿 ・平和推進事業広島派遣について ・海外派遣事業について ・自主登校教室について
6月定例	<p>【議案】第9号 準要保護児童生徒の認定について</p> <p>【協議】・後援承認について 1件 ・地域の感染レベルについて</p> <p>【報告】・7月の学校行事予定について ・夏まつりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度友好都市交流事業について ・温水プール・図書館について ・飛島村文化財保護審議会委員名簿について
7月定例	<p>【議案】第10号 教科用図書の採択について 【協議】なし</p> <p>【報告】・8月の学校行事予定について ・夏季期間中の下校バスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和推進事業について ・飛島ふるさとフェスタについて ・村民体育祭について ・友好都市交流事業(南種子町派遣)について
8月定例	<p>【議案】なし 【協議】令和2年度 泊を伴う行事について</p> <p>【報告】・9月の学校行事予定について ・後援承認について 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島村教育委員会に関する点検及び評価の報告について ・飛島村村外学生生活応援給付金交付要綱について ・愛知駅伝について ・友好都市交流事業(南種子町派遣)について
9月定例	<p>【議案】なし 【協議】・後援承認について 4件</p> <p>【報告】・学校行事予定について(10月) ・飛島ふるさとフェスタについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度使用教科用図書採択結果について ・飛島村村外学生生活応援給付金交付要綱について ・教育委員会教育課関係事業補助金交付要綱の一部改正について ・令和2年度温水プール及び図書館の開館日の変更について

10月 定例	<p>【議案】なし 【協議】なし</p> <p>【報告】・11月の学校行事予定について ・後援承認について 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会教育課関係事業補助金交付要綱の一部改正について ・教育委員が出席する審議会等について ・スポーツフェスティバル2020実施要項について ・令和2年度友好都市交流事業（南種子町派遣）の中止について ・令和3年度飛島村海外派遣事業（中学生）基本計画（案）について ・温水プール・トレーニングルームの制限について
11月 定例	<p>【議案】第11号 飛島村総合社会教育センターの設置及び管理に関する条例施行規則及び飛島村運動広場条例施行規則の一部改正について</p> <p>【承認】承認第1号 職員の分限処分について 承認第2号 教育委員会事務局職員の任免について</p> <p>【協議】・後援承認について 2件</p> <p>【報告】・12月の学校行事予定について ・シルバー会員大募集について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習（スポーツ）推進員設置要綱の廃止について ・スポーツフェスティバルについて
12月 定例	<p>【議案】第12号 令和3年度新入学児童生徒の就学について</p> <p>【協議】・教職員の働き方改革について ・後援承認について 2件</p> <p>【報告】・学校行事予定について（1月） ・成人式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度 図書館・温水プールカレンダーについて
1月 定例	<p>【議案】なし 【協議】・飛島村総合教育会議について</p> <p>【報告】・2月の学校行事予定について ・飛島村奨学金（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言について ・後援承認について 1件 ・2021年度 図書館・温水プールカレンダーの訂正について
2月 定例	<p>【議案】第1号 令和3年度飛島学園教職員の異動について 第2号 飛島村奨学金規則について</p> <p>【協議】・令和3年度教育委員会関係予算について ・令和3年度学校教育活動について</p> <p>【報告】・学校行事予定について（3月） ・後援承認について 5件</p>
3月 定例	<p>【議案】第2号 教育委員会事務局職員の任免について 第3号 令和3年度使用教材の承認について 第4号 飛島村奨学金規則について 第5号 飛島村奨学金資格基準について 第6号 飛島村立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について</p> <p>【協議】なし</p> <p>【報告】・飛島村村外生生活応援給付金交付要綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛島村スポーツ推進委員名簿について ・4月の学校行事予定について ・教育委員会教育課関係事業補助金交付要綱について ・飛島村特別支援教育就学奨励費支給要綱について ・後援承認について1件 ・飛島村学校施設長寿命化計画について ・飛島村就学援助事務取扱要綱について ・令和3年度少年少女体力づくり教室について ・令和3年度英語教室について ・令和3年度温水プール・ふれあい温泉招待券について ・令和3年度ライフロングスポーツプログラム（第1期）

3 教育委員会の活動状況について

例年、教育委員として参加する様々な行事、大会が開催されているが、令和2年度は、コロナ禍において、中止又は紙上開催オンライン開催となったものも多くあった。

月	教育委員会行事・大会等 (村内)	その他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 ・教職員辞令交付式、研修会 ・飛島学園入学式・後期課程進級式 ・PTA総会 ・村校長・教頭会 ・区長会 ・海外派遣事業本部会 ・教育委員会 ・海外派遣事業推進委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部教育事務所長・指導課長訪問 ・海部地方教育事務協議会、教育長・委員代表会議 ・海翔高校異動挨拶 ・臨時海部地方教育長会 ・海部地方教育事務協議会
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ・村校長・教頭会 ・土地評価委員会 ・教育 ICT 支援システム等導入プロポーザル第1回審査委員会 ・村長との打合せ・来訪者との話合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・県町村教育長協議会役員会 ・海部地方教育長会 ・教科書採択海部地区協議会
6	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りマスク贈呈式 ・教育委員会 ・第1回観光交流協会理事会・通常総会 ・夏まつり・村民体育祭実行委員会 ・図書館協議会 ・社会教育委員会 ・村校長・教頭会 ・飛島学園学校評議員会 ・明るい青少年を育てる活動推進会議 ・第1回防犯協会会議 ・交通安全推進会議 ・新型コロナウイルス感染症対策会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部教育事務所長・指導課長訪問 ・海部地方教育事務協議会・委員代表者会議 ・学園歯科医来訪 (フェイスシールド寄贈)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・学園・現職教育授業研究 ・総合計画研修 ・村校長・教頭会 ・教育懇談会 ・教育委員会 ・南種子町派遣本部会 ・教育 ICT 支援システム等導入プロポーザル第2回審査委員会 ・2020 飛島ふるさとフェスタ実行委員会 ・コロナウイルス対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・町村教育長協議会研修会 ・县市町村教育長意見交換会 ・海部地区教育長会議 ・津島東高校校長来訪 ・JAあいち海部来訪 (リヤカー2台寄贈) ・教科用図書採択海部地区協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> ・南種子町派遣応募説明会 ・村校長・教頭会 ・教育委員会 ・新規職員採用 (面接) ・村防災訓練 ・海外派遣事業第2回本部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会長来訪 ・海部教育事務所 来訪
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学園体育祭 ・地域医療懇談会 ・村校長・教頭会 ・表彰審査委員会 ・海外派遣事業第2回推進委員会 ・教育委員会 ・予算編成打合せ ・南種子派遣応募審査会 ・海外派遣打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・享栄高等学校 来訪
10	<ul style="list-style-type: none"> ・就学児健診断 ・教育委員会辞令交付 ・村校長・教頭会 ・教育委員会 ・飛島村ふるさとフェスタ ・スポ少テニス村長杯開会式 ・スポ少バスケット村長杯閉会式 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張部市町村教育長会議 ・海部地方教育事務協議会、教育長・委員代表会議 ・全日空来庁 ・女性校長会役員訪問
11	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島村ふるさとフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張部町村教育長協議会研修会

	<ul style="list-style-type: none"> ・南種子派遣事前研修 ・村教育支援委員会 ・海外派遣事業対象者保護者説明会 ・辞令交付 ・村表彰式 ・教育委員会 ・村校長・教頭会 ・第2回ふるさとフェスタ実行委員会・運営委員会合同会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会、教育長・教育委員代表会議 ・県町村教育長会役員会・研修会 ・県町村教育長と県教育委員会との懇談会 ・海部教育事務所 指導課長来訪
12	<ul style="list-style-type: none"> ・村環境審議会 ・土地評価委員会 ・区長会 ・教育委員会 ・教育懇談会 ・総合計画審議会 ・総合戦略会議 ・図書館協議会 ・社会教育委員会 ・年輪のつどい実行委員会 ・飛島村スポーツフェスティバル ・村校長教頭会 ・予算幹部査定 ・臨海地区連絡協議会及び名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地区人事面談（第1次） ・日本公衆電話会事務局長来訪
1	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団観閲式 ・飛島村成人式 ・教育委員会 ・飛島村総合教育会 ・村校長教頭会 ・会計年度任用職員面接 ・財務書類報告会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育長会研修視察 ・海部教育事務所指導課長来訪
2	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回飛島村環境審議会 ・教育委員会 ・子育て支援センター打合せ ・村校長・教頭会 ・児童館運営委員会 ・海外派遣事業プロポーザル 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地区人事面談（第2次） ・海部地区市町村教育長会 ・市町村オンライン協議会事前講習 ・令和2年度市町村教育委員会オンライン協議会 ・愛知県町村教育長協議会役員会・研修会 ・海部地区教育長・教育委員代表者会
3	<ul style="list-style-type: none"> ・スポ少総会 ・年輪のつどい実行委員会 ・教育委員会 ・飛島学園修了式 ・文化協会総会 ・全国大会出場表敬訪問 ・総合型地域スポーツクラブとびしま総会 ・村小・中校長会 ・転退職辞令交付式 ・会計年度任用職員統一面談 ・防災会議 ・飛島学園卒業証書授与式 ・文化協会総会 ・海外派遣事業第1回、第3回推進本部会 ・飛島学園情報セキュリティー委員会 ・海外派遣授業保護者説明会 ・教育懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会幹事会 ・市町村教育長・委員代表会議 ・校長会長来訪

V 主な事業の取り組み状況

1 学校教育・青少年健全育成

(1) 小中一貫教育の充実

① 外国語（英語）教育の充実

<令和2年度実績>

○外国語（英語）教育の推進

- ・1・2年生は隔週1時間、3・4年生は毎週1時間の外国語活動（英語での活動）を、5・6年生は毎週2時間、外国語（英語）の授業を、外国語専科教員とALTで実施。
- ・ALT（外国語指導助手）2名を派遣（委託）
（前期）週5日勤務（35時間）×43週 （後期）週5日勤務（35時間）×43週

○英語教室（ホームステイランゲージ）の実施（教育委員会主催）

- ・日時：月曜日6限 ・対象：8年生（6～10月）
- ・目的：実践的な英会話の研修

○英検 Jr の実施

- ・対象（実施日）：5年生（2月3日） 6年生（2月3日）
- ・英語学習の入門期に大切と考えられているリスニング形式。英語を聞いてイラスト等に○をつける。全国規模で実施され、成績データは客観性が高い。
- ・平均正答率：BRONZE（5年生受検） 飛島学園 平均92% 全国平均86%
SILVER（6年生受検） 飛島学園 平均88% 全国平均84%

○英検のための授業実施

- ・対象（回数）：8年生希望者（9回）
- ・英検：1月23日（中央公民館）、2月4日（清林館高等学校）
- ・英検受験者：3級（22名）・準2級（2人）
一次合格者：3級（11名）・準2級（1人） 二次合格者：一次合格者全員

<点検及び評価>

- 飛島学園の特色の1つである英語教育を推進するために、ALTを常時派遣し、上記の取組を行った。英語を使ってコミュニケーションをとることを心掛けたことで、英語を使う感覚が自然になってきた。
- 8年生に実施した英検では、受験した者の半数が合格した。月曜日の6限目に行った9回分の授業は、英検を意識した学習内容に取り組んだ。ALTと村雇用の外国語専科教員と一緒に授業を進めた。

② 通学路交通安全指導委託

<令和2年度実績>

○交通指導員の配置（シルバー人材センター委託）

- ・生徒の登下校時の交通安全指導
【登校時】・1時間×192日×8人
- ・村内7箇所・・・県道交番前2、交差点6（渚、役場南西、竹之郷農免、竹之郷三丁目、松之郷村道、元松神社東）
【下校時】・1～3時間×192日×1人 ・1箇所（県道交番前）

<点検及び評価>

- 交通量は多いが大きな事故もなく、交通指導員の配置による成果は大きい。

③ ICT支援委託

<令和2年度実績>

- 学園内 ICT 機器・職員用 PC 入れ替え、及び全校生徒へのタブレット端末導入にかかわる ICT 研修

15 時間 1 時間

○ICT教育支援員の派遣

- ・4月～2月 7時間×29日(1名)・3月 7.5時間×12日(1名)
- ・外部講師によるICT機器や校務システムの有効活用について研修(年2回)

<点検及び評価>

- 新しく導入されたICT機器やソフトウェア、及びアプリケーションを使って授業を行う際に、教職員も戸惑うことなくICT機器を活用することができた。
- 教職員や生徒が、ICT機器の使用について困ったときに迅速に対応し、トラブルを解決することができた。

④ 小中一貫教育検証等

<令和2年度実績>

○小中一貫教育についての理解促進

- ・9年間の連続性のある一貫教育の推進のため、授業と学び研究所の玉置先生、大西先生、和田先生、栗木先生を講師に迎えての授業研究や、神戸先生によるICT機器の有効活用に向けての現職教育を行い、指導・助言をいただいた。
- ・小中一貫教育を推進するため、岐阜聖徳学園大学教授の玉置崇先生を迎え、研究の進め方や行事の持ち方、検討等、具体的な助言をいただいた。

○後期課程教員による前期課程への一部教科担任制(体育・図工・家庭科)

前期課程教員による後期課程への一部教科担任制(音楽)

<点検及び評価>

- 小中一貫教育について、外部講師より指導助言をいただくことで、振り返りを中心に全教職員が一貫した授業展開について学ぶことができた。
- 小中の教員が合同で研究授業と協議会を行った結果、9年間で積み上げるべき授業技術や方向性について共通理解を図ることができた。
- 今後は、義務教育学校の教育の可能性を探り、5年生以上の教科担任制に取り組むことをはじめ、教育課程の工夫、外国語(英語)教育の充実、教職員・保護者・地域への小中一貫教育についての理解促進に努める。

⑤ 水泳授業への指導員派遣

<令和2年度実績>

○新型コロナウイルス感染症予防のため、水泳の授業は実施せず。

⑥ 学校給食事業

<令和2年度実績>

○学校給食の調理を業者委託(平成22年～)

- ・調理員…毎日10名を配置
- ・調理実施日…178日、食数…82,877食(平均466食/日)
- ・食物アレルギーをもつ生徒への学校給食対応について、平成29年度末に作成されたガイドラインを教職員、調理員に周知し、適切な対応に努めた。

<点検及び評価>

- 新型コロナウイルス感染症予防のため、ふれあいホールでのカフェテリア方式による会食ができないため、個別にパックに詰めた給食の提供を行い、生徒に安心して安全な給食

を提供することができた。

⑦ 非常勤講師雇用事業

<令和2年度実績>

○非常勤講師の配置

《前期課程》算数の少人数指導、英語、図工・書写の授業、特別支援学級の補助

13時/週×35週 420時間/年(1名) 21時/週×35週 750時間/年(1名)

25時/週×35週 880時間/年(1名)

《後期課程》国語、家庭科・技術・音楽の授業、特別支援学級の補助

12時/週×35週 420時間/年(1名) 15時/週×35週 525時間/年(1名)

18時/週×35週 630時間/年(1名)

○特別支援教育支援員の配置

・授業補助

17.1時/週×35週 600時間/年(2名)

○メディアセンター司書の配置

・蔵書整理、図書の購入、調べ学習時の参考図書レファレンスサービス

・1120時間/年(1名)

<点検及び評価>

○後期課程教員や非常勤講師が、5・6年生の授業に入る一部教科担任制の実施は、専門的な学びができ、7年生授業へのスムーズな移行へ繋がっている。

○通常学級に在籍する支援を要する生徒の指導にあたることで、落ち着いて授業を受けられるようになってきた。

○非常勤講師の配置は、後期課程では臨時免許で授業を行う必要がなくなるだけでなく、教員が教材研究を行う時間の確保に繋がっている。前期課程では少人数指導に入ることによって、教員による個別指導の時間が減少している。教員の働き方改革の有効な手立てとなっている。

(2) 地域と連携した学校教育の推進

① 総合学習講師派遣

<令和2年度実績>

○後期課程「職場体験」

・4つの事業所の方を講師に招き、学園内にて講話や職業体験を実施し、自己の生き方を見つめる機会となった。

○前期課程「農業出前授業」

・地域の茶道や和菓子作りの先生を講師にお迎えし、茶道や和菓子作りなどの日本文化を体験する授業を行うことができた。

・飛島村の農家の方をお招きし野菜作りについて学んだ。さらに、経済課の力添えにより、栽培した野菜を産直市場で販売することができた。

<点検及び評価>

- 野菜作りの楽しさや苦勞について学ぶことで、生産者の思いを理解することができた。飛島村で農業で活躍する方や経済課の方から、直接指導を受けることで、仕事に対する思いや考え方を学び、野菜作りや販売のおもしろさを実感することができた。

(3) 生徒の心身の健康づくり

① スクールカウンセラー配置

<令和2年度実績>

- 保護者や生徒の相談活動を実施
 - 不登校支援や問題行動の対応、特別な支援を必要とする生徒の対応、
 - ・200時間/年(2名)
- 不登校生徒宅へ担任とともに訪問する。

<点検及び評価>

- 週3日、スクールカウンセラーを配置することで、保護者や生徒の相談に迅速に応えることができ、早期の対応に繋がった。
- ケース会議では、教員がスクールカウンセラーより、生徒個人の実態に合わせた専門的なアドバイスを受けることができ、よりの確な指導に活かすことができた。
- 特別な支援を必要とする生徒の対応については、医療機関の臨床心理士と連携し、保護者の気持ちを汲み取り、担任と特別支援担当をつなげることができた。

② ハイパーQ-Uアンケート

<令和2年度実績>

- ハイパーQ-Uアンケート実施(年2回)
 - ・目的：登校しぶり、いじめの被害者や加害者、学校生活の意欲が低下している生徒の早期発見、早期対応、よりよい学級を経営するため。
- アンケート結果分析研修の実施
 - ・講師：坪田祐季 氏(県のスクールカウンセラー)
 - ・各学年、各学級、生徒一人一人の状況への対策についてアドバイスを受けた。

<点検及び評価>

- アンケートの実施や結果の活用方法を研修することで、学級担任が生徒一人一人の内面や対人関係をより把握しやすくなり、学級経営を進める上で、有効に活用することができた。
- 年間2回のハイパーQ-Uアンケートが実施できることで、学級の状態の変化をつかむことができた。また、2学期にはSCによるQ-U分析を活かすことができた。

③ いじめ・不登校問題対策

<令和2年度実績>

- 飛島学園のいじめ・不登校対策委員会を開催
- 毎月の学園職員会議で前後期の情報の共有
- 生徒指導部会を開催(毎週)
 - ・問題行動・不登校生徒への対応策について、共通理解の場となっている。
 - ・生徒指導主事による校内研修

- 村校長教頭会議（毎月）・村教育懇談会（毎学期末）
 - ・心配な生徒の状況等を情報共有し、対応を協議した。
- 教育支援教室「きらり」を開設（30年10月より）
 - ・登校しぶりのある生徒1名が通室している。学習を中心に絵画や手芸など、心穏やかに通うことができている。
 - ・保護者の面談活動もその都度行った。

＜点検及び評価＞

- いじめ・不登校・虐待については、学校、教育課で迅速に情報共有をすることができ、関係機関とも連携して対応することができた。
- 教育支援教室「きらり」に通室することで、できることが増えたり、自分の思いを伝えることができるようになったりして、学校にも登校できるようになってきた。
- 毎週の生徒指導部会では、全校の心配な生徒を前期後期ので共有し、月1回の生徒指導委員会において全職員で見守る体制づくりを行っている。

（4）就学支援の充実

① 教育支援事業

＜令和2年度実績＞

- 経済的な理由により就学困難な家庭へ、学用品等購入費、給食費等の支給
 - 【前期課程】4名 【後期課程】5名
- 特別支援教育就学奨励費として、学用品等購入費の支給
 - 【前期課程】5名 【後期課程】1名

＜点検及び評価＞

- 就学援助費や就学奨励費の支給は、保護者の経済的な負担軽減につながっている。

（5）学習環境の充実

① 施設維持管理事業

＜令和2年度実績＞

- 施設の保守等を実施

体育用具遊具点検(1回)	浄化槽保守(26回)	消防設備保守(2回)
総合環境衛生[清掃](随時)	電気保安保守(6回)	学校警備(常時)
体育祭会場設営(1回)	エコキュート保守(2回)	除草作業(3回)
グラント整備(2回)		

＜点検及び評価＞

- 継続して委託することにより、施設の長寿命化を図り、不具合・故障のあった箇所は早期に修繕を実施することができた。

（6）青少年健全育成の推進

① 明るい青少年を育てる活動推進事業

＜令和2年度実績＞

- 広報・啓発活動
 - ・ポスター作品を募集し、優秀作品を掲示（新型コロナウイルス感染症の影響で学園が休校になり、夏休みの宿題の負担を軽減するため、標語の募集及び看板設置は未実施。芸術鑑賞会での花の種の配付についても、感染症予防の観点から未実施。）

○学習活動

- ・家庭教育講座「子育てまかせてちょセミナー」(中止)

○ふれあい活動

- ・親子ふれあい教室(パティシエ、木工、パン)や親子芸術鑑賞会(年1回)を開催

○ボランティア活動

- ・とびしま・ペアレンツ(R3.3現在57名登録)(活動なし)

○すこやか子育てセミナー

- ・子育てネットワークが企画・運営する「親子ふれあいひろば」(中止)

<点検及び評価>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、募集人数を減らすなど規模を縮小して実施した。
- 親子ふれあい教室の木工教室では、地元産業の木材を使ってランドセルラック作りを行い、地域との繋がりを深めることができた。

② 平和推進事業

<令和2年度実績>

- 広島派遣及び体験報告会(中止)(於:9月飛鳥学園の文化祭)を開催

- ・目的:平和の尊さを学習・実感させるため
- ・団員:6名、引率者2名
- ・派遣先:広島市平和記念公園(平和記念式典、献花献水慰霊式へ参加)
- ・期間:令和2年8月5日(水)~6日(木) ※報告書:300冊作成

- 原爆写真等のパネル展示

- ・目的:「平和推進の村」宣言に基づき、平和の尊さを村民に公布するため
- ・時期:令和2年7月中旬~8月15日

<点検及び評価>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、広島市への派遣事業は5月に中止決定となったが、戦争や平和について考えるきっかけづくりとして、冊子を作成・配付した。
- 広島派遣では、被爆体験者から直に話を聞くことで、戦争を知らない生徒たちが、再び戦争を繰り返さないこと等、生き方を考える貴重な体験となった。
- 学園の文化祭で体験報告会を行うことで、「ヒロシマ」の願いを生徒、保護者、地域の方へ広く伝えることができた。

2 生涯学習・スポーツ・文化

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進事業

<令和2年度実績>

- 生涯学習(スポーツ)推進員の活動支援

- ・推進員:23名 任期:2年
- ・活動:村内行事が新型コロナウイルスの影響により中止になったため、活動の実績はない。「学習部会」「スポーツ部会」「広報部会」に分かれて村内行事へ参加

- ・生涯学習情報誌「ほうれんそう」を年2回発行(村内全戸・企業に配布 2,000部印刷)

- スポーツ推進委員の活動支援

- ・委員数:7名 定例会:11回開催

- ・ライフロングスポーツプログラムのレクリエーション講師実践(年9回中4回実施)
(延参加者) 72名(小中学生55人、大人17人)※3月24日分を除く
(内容) 運動嫌いをなくす、健康・体力づくり。ボール運動等の運営・指導に当たる。
- ・研修会等への参加 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止
全国スポーツ推進委員研究会(1名)
東海四県スポーツ推進委員研究会(4名)
愛知県スポーツ推進委員研修会(1名)
西尾張スポーツ推進委員研修会(3名)
海部地区スポーツ推進委員研修会(3名)
海部南部地区スポーツ推進委員研修会(6名)

<点検及び評価>

- 生涯学習(スポーツ)推進員において、設置当時は推進員が事業を計画し、どろんこまつり・花いっぱい運動等を行っていたが、近年においては補助金の充実もあり、各地区において実施されるようになったため、令和3年3月31日をもって廃止する。
- スポーツ推進委員は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事が中止になることが多い中、ライフロングスポーツプログラムの一教室を担うことによって、他外部講師との交流が図られ、指導力が向上する良い場となった。

② 文化振興事業

<令和2年度実績>

○ふるさとフェスタの開催

- ・目的: 村民が学習の成果や郷土芸能等を発表する場を設け、文化・芸能に対する資質の向上、郷土芸能の伝承を行うこと
- ・開催日: 令和2年10月31日(土)～11月1日(日)
- ・内容: 文化祭、芸能祭、菊華展等
- ・参加者数: 延べ2,835名

<点検及び評価>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学園からの参加は中止。また、来年度から働き方改革の一環で休日の出勤が出来なくなるため、全校生徒での参加は難しい。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、芸術鑑賞会、農業祭、健康福祉祭を取りやめ規模縮小をして開催した。
- 生徒が郷土芸能に触れる機会を増やし、郷土芸能への理解を図った。次年度は、さらに生徒が活躍している姿を見られる場を増やしたい。
- 産業、福祉、芸術等の分野と連携を図り、農業祭・健康福祉祭と、芸術鑑賞会の開催時間が重ならないようにし、村民が参加しやすいようにしている。
- 村制130周年記念式典を行った。村民に飛鳥村130年のあゆみを知ってもらえる機会になった。改善点としては、委員会を立ち上げ村民にとってよりよい式典にすることが出来たのではないかなと思う。

③ いきがい教育推進事業

<令和2年度実績>

○年輪のつどいの開催

- ・目的：村民の生きがいつくりと親睦を深めるため
- ・開催日：令和3年2月28日（日）（中止）
- ・対象者：（50歳）61名、（60歳）50名、（70歳）69名
- ・参加者/対象者：~~（50歳）15/63名、（60歳）21/62名、（70歳）40/88名~~

<点検及び評価>

- 新型コロナウイルスの収束が見えず、国からの緊急事態宣言も発令された状況を鑑み、実行委員会で協議した結果、1月に中止を決定した。
- 各年代の代表による実行委員会を立ち上げ、式典の企画、運営及び講演会を行うことで、親睦交流会としてスムーズに実施することができた。

④ 地域づくりコミュニティ推進事業

<令和2年度実績>

- 成人式(式典、記念撮影、懇親会)の開催
 - ・日時：令和3年1月10日(日) ※「成人の日」前日の日曜日開催
 - ・対象：村在住(中学校卒業で村外転出者を含む)の新成人
 - ・参加者：37名/57名(対象者)

<点検及び評価>

- 昨年度同様、新成人の代表による実行委員会を立ち上げ、式典後の懇親会を企画・運営することができた。楽しく準備している様子が伺えた。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の視聴覚室から、ホールへ会場を移した。保護者も一緒に式典を見られることから好評であり、今後もホールで行っていく予定である。
- しかし、企画・運営に積極的に協力する者が少なく、少し大変だったとの声も聞かれた。

⑤ 社会教育施設活用促進事業

<令和2年度実績>

- 「生きがい学習講座」の開催

・フラダンス教室	4回（定員20名）	計	5名受講
・ハワイアンキルト講座	5回（定員10名）	計	13名受講
・ボールペン・筆ペン講座	4回（定員15名）	計	4名受講
・太りにくいからだづくり教室	5回（定員10名）	計	12名受講
・女性のためのDIY講座	新型コロナウイルス感染症の影響で未実施		
・アクセサリー作り教室	新型コロナウイルス感染症の影響で未実施		
・ハワイアン料理教室	1回（定員24名）	計	6名受講
・ウクレレ教室	4回（定員20名）	計	6名受講
・美味しいコーヒー講座	1回（定員16名）	計	16名受講

<点検及び評価>

- 定員数に満たない教室も含め、今後も村民のニーズを把握し、見直しも含め充実を図っていく。
- 社会教育施設活用促進のため、今年度より対象者を村内外関係なく、どなたでも参加可能とした。

⑥ 友好都市交流事業

<令和2年度実績>

○南種子町への交流研修を実施

- ・目的：両町村住民の相互交流と相互理解を図るため
- ・日時：令和2年12月23日（水）～12月25日（金）（中止）
- ・交流団：6年生10人 引率者3名

<点検及び評価>

- 9月に飛島村で初めて新型コロナウイルス感染者の発表があったこと、学校行事において、泊を伴う修学旅行や野外活動が日帰りに変更になったこと、また、南種子町において主たるイベントが中止になったことなどから、10月に中止の決定をした。
- 本事業において、初めて報告書（冊子）を作成し、活動報告を残した。また、学園主催で報告会を行い、南種子町について学んだことを伝えることができた。

(2) 生涯スポーツの推進

① 各種大会開催事業

<令和2年度実績>

○村民体育祭の開催

- ・日時：令和2年10月11日（日） ・場所：飛島学園運動場
- ・参加者：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・種目等：地区対抗、一般参加、各種団体参加、アトラクション等22競技
- ・実行委員会(2回・書面開催含む)、~~競技等検討委員会(2回)~~・~~参加団体代表者会(1回)~~

○愛知万博メモリアル 第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加

- ・日時：令和2年12月5日（土）
- ・場所：愛・地球博記念公園内、周回コース
- ・選手団：20名（監督を含む） ・村推進委員会(1回)
- ・競技結果：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止【町村の部】一位/16チーム

<点検及び評価>

- 村民体育祭については、屋外ではあるが、各団体・地区控テントにおいて、密集を避けることが困難なため7月に中止の決定をした。
- 愛知駅伝については、陸上競技における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインを踏まえて大会実行委員会において開催を検討されたが、会場となる愛・地球博記念公園が不特定多数の来園が予想され、十分な対策ができないため7月に開催を断念された。

② スポーツ教室開催事業

<令和2年度実績>

○少年少女体力づくり教室の開催（対象：小学生）

- ・目的：子どもたちに各スポーツの基本を教え、スポーツや運動への興味・感心を高め、スポーツ少年団への加入促進を図ること
- ・期間：令和2年4月12日（日）～令和2年6月14日（日）（全10回中止）
- ・教室：サッカー、テニス、ミニバスケットボール、剣道
- ・参加者：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○サルセッション®教室の開催

- ・期間：令和2年5月12日（火）～令和2年10月13日（火）（前期20回中10回実施）

令和2年10月20日(火)～令和3年3月23日(火) (後期20回中15回実施)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部開催中止

・定員：18歳以上の女性 前期20名・後期15名

・参加者：前期10名・後期12名

○飛島村ライフロングスポーツプログラム

(スポーツ)

・期間：(1期) 令和2年5月7日(木)～7月29日(水) (全27回中止)

(2期) 令和2年9月4日(金)～11月25日(水) (全27回)

(3期) 令和3年1月5日(火)～3月28日(日) (全27回中11回実施)

・定員：(1期・2期) 小中学生・大人 各20名

(3期) 小中学生20名・18歳以上10名

・参加者：(1期) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2期) 延べ520名 (3期) 小中学生21名、大人2名申込

(フィットネス)

・期間：(1期) 令和2年5月1日(金)～7月31日(金) (全27回中止)

(2期) 令和2年9月1日(火)～11月28日(土) (全29回)

(3期) 令和3年1月8日(金)～3月27日(土) (全30回中12回実施)

・定員：(1期・2期) 大人 各20名 (3期) 18歳以上15名

・参加者：(1期) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2期) 大人9名申込・延べ95名 (3期) 大人4名申込

○陸上教室

・期間：令和2年8月4日(火)～8月21日(火) (全5回)

・定員：小学生低学年・高学年各20名 ・参加者：33名

<点検及び評価>

○ライフロングスポーツは、生涯スポーツに繋がるように、運動が苦手な人でも気軽に楽しめる種目を取り入れて行った。また、参加者からは「次年度もやってほしい」と好評を得た。開催時に密にならないよう定員を減らして実施した。

○小中学校の部活動のあり方が変わってきていることに伴い、地域の受け皿としても、子どもが参加できる教室を増やす等、スポーツ教室の充実を目指していきたい。

○サルセッション®教室についても参加者・参加率が従来の教室と比較しても高く、村民の需要が見込まれるため継続していく必要がある。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

① 文化財管理事務事業

<令和2年度実績>

○文化財台帳作成を実施

・前年度に基礎調査を行ったデータを基に、文化財の情報を村史などから収集し文化財台帳を作成

② 地域民俗芸能伝承事業

<令和2年度実績>

○地域文化の振興と継承

・元松神楽太鼓保存会、海東流古政神楽太鼓保存会、服岡獅子舞保存会の運営費を助成

<点検及び評価>

- 災害などの際に文化財が破損した時に復元する資料及び保守点検等での活用を目的に、文化財の台帳を作成した。
- 団体の運営経費を助成し、民俗芸能を伝承する地域人材の育成に繋げたい。

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

① 中央公民館管理事務事業

<令和2年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（消防設備、吊物、照明、音響、防犯カメラ等）
- IT ルームのパソコンのリース更新

② 渚コミュニティセンター運営維持管理事業

<令和2年度実績>

- 渚コミュニティセンターの管理・運営の委託（指定管理）
 - ・地元の渚地区公民館運営委員会へ施設を適正かつ円滑に管理するため、指定管理者委託を実施中（平成29年4月1日～令和4年3月31日まで）

③ 地区公民館維持管理助成事業

<令和2年度実績>

- 地区公民館（15地区）の維持管理費及び施設整備に係る運営経費の補助
 - ・地区公民館の適正な管理及び運営費の助成

④ 公民館分館管理事務事業

<令和2年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）、夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託 ※ 喫茶室は賃貸
- 舞台吊物機構撤去工事

⑤ 社会体育施設管理事務事業

<令和2年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、浄化槽）、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託
- 社会体育施設修繕等の実施
 - （東グラウンド）照明自動点灯盤取替・東グラウンド防護マット補修
 - （三福サッカー場）門扉取替
 - （大宝サッカー場）グラウンド改修・ベンチ改修
 - （大宝テニス場）防風ネット張替

<点検及び評価>

- 施設の経年劣化に伴い、施設の長寿命化を目的として、順次、改修工事を行い、利用者の安全性・利便性の確保を図っていく。
- 渚コミュニティセンターは、月に2～3回の利用があり、地区住民の利用が定着してきている。
- 地区住民の連帯感と心豊かな住みよい地域社会をつくるため、地区公民館の維持管理に対する助成は必要とされており、今後も継続していきたい。

⑥ 温水プール維持管理事務事業

<令和2年度実績>

【一般】※飛島学園水泳(体育)授業、着衣泳は含まない。

年度	利用者数	日最高	日平均	開館日	累 計
30	86,912 人	1,944 人	300 人	290 日	1,947,115 人
元	85,882 人	1,601 人	328 人	262 日	2,032,997 人
2	18,381 人	291 人	85 人	216 日	2,051,378 人

※ 元年度は3/5～3/31まで、新型コロナウイルス感染症予防のため臨時休館

※ 2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、4/1～7/3まで臨時休館。7/4～10/31まで、在住在勤とその同伴家族に利用者を制限して開館。11/1から一般開放。

○プール利用カード発行による無料開放(村小・中学生 計 1,007 人)

・期間：7/4～9/1

【飛島学園】水泳(体育)授業の利用

区 分	回 数	延べ参加者数
小学校(着衣泳を含む)	0 回	0 人
中学校	0 回	0 人

※新型コロナウイルス感染症予防のため、授業は行わなかった。

【総合型スポーツクラブ】スポーツクラブとびしまの利用

区 分	回 数	延べ参加者数
子ども水泳教室 (年中～小学生)	480 回	4,594 人
アクアビクス(大人)	23 回	236 人

【スポーツ協会】育成クラブの利用

区 分	回 数	延べ参加者数
水泳クラブ	33 回	259 人

【保健環境課】健康増進事業の利用

区 分	回 数	延べ参加者数
シルバーフィットネス	23 回	276 人

○主な施設設備工事、修繕

・プール諸設備(滑り台塗装、コージェネ No. 1 号機排熱回収ポンプ、膜内加温用チラー等)修繕を実施

○危機管理体制の強化

<点検及び評価>

○コロナ禍においても、感染症対策を十分に行い、制限をかけながらではあるが開館することができた。今後も感染症対策を十分に行い、開館していく

○今後も施設設備の保守点検を行い、計画的に改修を実施していく。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

① 社会教育団体活動費助成事業

<令和2年度実績>

○関係団体の事業活動に要する経費の補助

【文化協会】

- ・補助金額：8,500,000円（加盟団体：30） ・登録会員：328名
- ・総会、常任理事会（3回）、理事会（6回）、役員研修会の開催
- ・第21回文化協会春の祭典（中止）
- ~~・飛島村文化協会創立20周年記念行事を開催（11月24日）~~
- ~~・県文連西尾張部芸能大会を開催（11月24日）~~
（会場）飛島村中央公民館ホール（出演団体）クラシックバレエ教室
- ・各種行事（夏まつり、村民体育祭、ふるさとフェスタ）への協力

【婦人会活動】

- ・補助金額：76,000円（1地区） ・会員数：13名
- ・地域活動：花いっぱい活動（3回）、ふるさとフェスタに出展

【学園PTA活動】

- ・補助金額：400,000円 ・家庭教育学級：1回（小・中共通）

<点検及び評価>

- 文化協会は、今年度は新型コロナウイルスの影響で、思うように活動ができず、不便をかけるところであった。しかし、令和3年度には愛知県民茶会が飛島村で開催予定のため、しっかりと準備する必要がある。また、協会は自主運営団体であるため、将来的には事務運営面でも会員自身で進めるのが望ましいと考える。
- 婦人会活動に対しては、女性の活躍・地域の活性化を図るため、より一層の団体育成を図っていく。実活動においては、「花植隊」が活発な活動を行っていただいている。
- 今年度から飛島学園が義務教育学校へ移行し、小・中学校PTAも統合され、学園PTAとなり、より一層充実した活動をしていただきたい。

② 社会体育団体活動費助成事業

<令和2年度実績>

○関係団体が行う事業及び運営に要する経費の補助

【スポーツ協会】

- ・補助金額：2,250,000円 ・登録人員：673名
- ・総会・役員会（7回）の実施
- ・村スポーツ大会の実施：1競技 その他は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・役員研修会の実施：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・各種大会への参加協力（村民体育祭、愛知駅伝等）：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【スポーツ少年団】

- ・補助金額：1,450,000円 ・団員数：65名 ・指導者数：40名
- ・総会、本部役員・指導者協議会：3回
- ・指導者研修会の実施：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・村長杯の実施：2競技 その他は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・スポーツ少年団の各種大会への参加
- ・村行事（村民体育祭等）へ参加協力：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【スポーツクラブとびしま】

- ・補助金額：5,000,000円 ・総会・理事会（3回）
- ・運営会員：12名 ・一般会員：402名 ・賛助会員：なし

【全国大会派遣補助】

・個人 延べ4名：245,000円

<点検及び評価>

- 今後も、住民が自主的にスポーツに関わっていけるような支援や、活性化に繋がるような種目の掘り起し等を行っていく。また、自立して活動を行うことができるように、総合的な組織・体制づくりの支援を行っていく。
- スポーツ少年団は、広報も行っているが、年々加入者が減少している。中学校の部活動のあり方も変化してきており、新たな活動形態も含め検討していきたい。
- 「スポーツクラブとびしま」は、水泳教室やヒップホップダンス教室は人気があるが、新規のランニング教室等の導入効果もあり、一般会員が減少傾向にある。今後も、村民のニーズを踏まえ、対応していきたい。

(6) 図書貸出機能の強化

① 図書館管理運営事業

<令和2年度実績>

○蔵書状況

年度	図 書	視聴覚資料	雑 誌	絵画作品	計
30	87,684 冊	7,510 点	4,448 冊	259 点	99,901 点
元	87,774 冊	7,670 点	4,345 冊	259 点	100,048 点
2	87,599 冊	7,822 点	4,240 冊	259 点	99,920 点

○貸出状況

年度	貸出点数(一人当たり)	3月末登録者数	年間貸出点数
30	14.86 (冊・点)	4,889 人	72,642 冊・点
元	12.60 (冊・点)	5,213 人	65,687 冊・点
2	9.53 (冊・点)	5,374 人	51,218 冊・点

※ R2.3/5～3/31、4/1～6/1 は、新型コロナウイルス感染症予防のため臨時休館

○広報活動

- ・広報とびしま掲載 (図書館コーナー おすすめの本)
- ・ホームページ、デジタルサイネージからの情報発信

○主な施設・設備の修繕 …DVD・CDの研磨

<点検及び評価>

- 明るい館内、親しめる空間、また、システム更新を行うことにより、利用しやすい図書館であると利用者から好評である。

② 図書館整備事業

<令和2年度実績>

○図書の整備

- ・絵本の更新、システムの配架表示と現在場所の確認、配架の本の整理、利用者のニーズに応えた資料の充実を図った。
- ・図書・視聴覚資料の一部除籍を実施した。
- ・平成28年度に除籍した図書資料について、無償配布を行った。
- ・平成30年度に利用された雑誌について、無償配布を行った。

<点検及び評価>

- 効率的な除籍（図書・視聴覚資料）を実施し、資料の充実を図り、利用しやすい環境を整えることができた。
- 雑誌の無償配布は、冊数の制限を設けたり、整理券を配布したりするほどの人気があり、今後も継続をしていきたい。

(7) 図書館利用者サービスの充実

① 図書館活動推進事業

<令和2年度実績>

○ブックスタートの実施（年6回）

- ・奇数月、最終火曜日、午後、3・4ヶ月児健康診査終了後に、赤ちゃんと保護者に絵本を開く体験とあたたかなメッセージを伝え、絵本を介してゆっくりふれあうひとときをもつきっかけづくりができるようにブックスタートパック（絵本2冊や赤ちゃん絵本冊子等）を手渡した。

○季刊誌「図書館だより」発行（年4回）

「きらきら・のびのびつうしん」発行（年12回）

○おはなし会の実施（各年12回）

- ・図書館ボランティア：「おはなしぷくぷく」、「コアラのおはなし」、「としょかんおじさんのおはなし」

※ 2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため「としょかんおじさんのおはなし」を1回開催。他のおはなし会は中止。

○人形劇公演（年1回）

※ 2年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止。

<点検及び評価>

- ブックスタートは、親子がゆっくりふれあうきっかけとなっている。
- 図書館だより等を発行することで、地域の方々へ取組を広く発信することができている。
- おはなし会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、4月当初は中止としていたが、各ボランティア3団体と協議し、感染症対策を行いながら実施する方向となった。今年度は3月に1回実施したところ、親子の読書活動の一助となった。来年度以降も感染症対策を十分に行いながら継続していく。

3 国際理解

(1) 国際交流の推進

① 海外派遣事業（中学生）

<令和2年度実績>

- ・目的：外国の文化や生活を体験させることで、国際感覚を養うこと
- ・派遣先：アメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市 他
- ・期間：令和2年8月19日（水）～25日（火）7日間（中止）
- ・団員：57名（村内在住の中学2年生） ・引率者：5名
- ・報告書：300冊作成

＜点検及び評価＞

- リバビュースクールやホームステイでの体験を通して、英語でコミュニケーションを取る楽しさ・必要性を感じさせることができた。
- 日本との違い(文化、国土の広さ等)を実感させるとともに、飛島村や日本の良さも再発見させることができ、国際的な友好・協力関係の大切さを意識付けすることができた。
- 報告会では、後輩、保護者、地域の方へ派遣事業の成果を報告することができ、事業目的の理解に繋がった。また、後輩たちには、事業参加への意識付けとなった。
- 今年度で29回目となった海外派遣事業だが、近年の天候不良等により事業催行を危ぶむことがあった。今後は、事業を中止した場合の想定も必要と考える。
- 今年度は新型コロナウイルスの影響で8月実施については4月に中止決定をした。その後、3月実施に向けて渡航先の変更も含め検討を重ねたが、9月に中止の決定をした。来年度は2学年での実施を考えている。

② 国際交流事業

＜令和元年度実績＞

○リオビスタ市交流団の受入――

- ・日 時：令和元年6月14日～17日
- ・生徒10名、引率2名を受入
- ・村内の6家庭で3泊4日のホームステイを実施。
- ・飛島学園アリーナにて歓迎セレモニー、6～8年生教室にて交流授業を実施

＜点検及び評価＞

- ホストファミリーの登録家庭は、村民の関心・理解は高まってきていることもあり、微増となっている。今後も、紹介ブースを設ける等でPRし、登録軒数を増やしていく。
- 交流団の来村により8年生だけでなく、他学年でも英会話への関心度が高まり、国際理解にも繋がっている。